

防災を考える日

～ テーマ 「自助」「共助」「公助」の三助で
災害に備える」～

内容

- 1 今月のテーマ
- 2 「自助」「共助」「公助」とは
- 3 災害時の基本的な心構え
- 4 連携した防災対策

大規模な災害発生時には、「公助」が機能するには時間がかかるので、自分で自分の身を守る「自助」、そしてとなり近所の助け合いである「共助」が重要となります。



今月のテーマ

「防災を考える日」の今月のテーマは、「自助」「共助」「公助」の三助で災害に備える」です。東日本大震災クラスの大規模な災害が発生すると、公的機関による「公助」だけでは対応には限界があります。このため、発災直後の防災活動において、「自助」と「共助」の2つの地域の防災力が大きな役割を果たします。「自助」「共助」「公助」の三助について、皆さんで話し合ってみましょう。

「自助」「共助」「公助」とは

防災対策の基本は、「自助」「共助」「公助」の3つであるといわれています。

「自助」⇒ 自分で自分の身を守ること。

「共助」⇒ 向こう三軒両隣、自主防災組織など地域が協力してお互いを守ること。

「公助」⇒ 公的機関が防災対策・救護・支援を行うこと。

災害時の基本的な心構え

大規模な災害が発生した場合に、自分たちの生命や財産を守るためには、「いざという時どうするか」という個々人の普段からの心構えが一番大切です。

「自分の命は自分で守る、自分の家族は自分たちで守る、自分の地域はみんなで守る」

連携した防災対策

災害が大きくなるほど、公的機関が発災直後に適切で迅速な対応を、全てに対して行うことは困難になります。こうしたことを念頭に置いて、「公助」だけに期待するのではなく、「自助」「共助」「公助」を組み合わせた防災活動を進めることが大切です。

気仙沼市総務部危機管理課

988-8501

宮城県気仙沼市八日町1-1-1

電話番号:

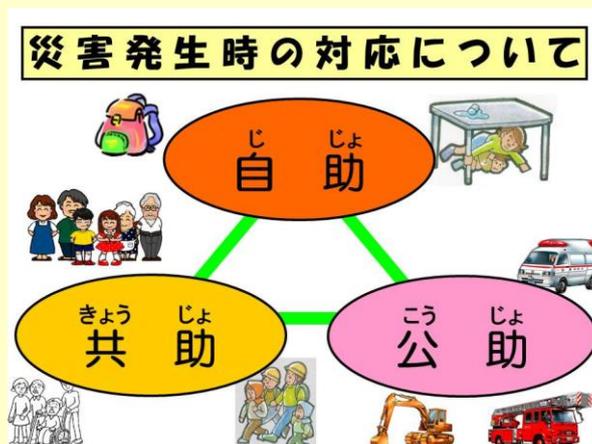
0226-22-3402

FAX 番号:

0226-22-1467

電子メール:

kikikanri@kesenuma.miyagi.jp



※「自助」「共助」「公助」が上手く連携を保つことで、防災対策は効果を発揮することができます。